

関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会 提言の概要

世界にひらかれた 魅力あふれる創造都市 けいはんな

学研都市をめぐる社会経済状況が大きく変化し、学研都市が果たすべき新しい役割が求められている。

そこで、「関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会」は、セカンド・ステージ・プラン以降の学研都市の目指すべき方向性について、提言をとりまとめた。

学研都市の課題と新たな時代変化

学研都市は、着実に都市としての集積が図られ、多くの研究成果があげられ、市民活動も活発に行われているが、一方で、行政間、立地機関間での相互の連携や、市民も含めた都市域内外における連携が必ずしも十分でない。

そのため、情報発信が不足し、都市全体で総合力が十分に発揮されていない状況にある。

また新産業の創出や国際化の進展など新たな取り組みへの対応も求められている。

学研都市における現状の課題

- (1)学研都市としての文化学術研究機関の総合力の発揮が不十分
- (2)都市の賑わいや利便性の不足
- (3)クラスター（地区）開発の遅れ、多くの低未利用地の存在
- (4)交通基盤整備の課題

踏まえるべき新たな時代変化

- (1)研究開発に求められる機能の変化、新産業の創出に向けた課題
- (2)新たな文化の広がり、ライフスタイルの多様化
- (3)国際化の著しい進展に伴う学術研究都市の課題
- (4)新たな都市の運営にかかわる課題

これからの学研都市の取り組みの方向性

(1)学研都市としての総合力の強化、新たな学術研究の推進

学研都市全体の一体性の確立、総合力の強化

近畿リサーチ・コンプレックスの中核として、研究開発プロジェクトの推進

持続可能な社会の実現に向けた新たな研究分野への積極的な取り組みと独創的な研究の育成

(6)学研都市の活動を支える基盤整備のスピードアップ

クラスター（地区）の整備促進など
クラスター（地区）の特徴に応じた低未利用地の有効活用
関西国際空港などへアクセスする道路、各クラスター（地区）間を連絡する道路の早期整備
鉄道やバスの輸送力の強化及び利便性の向上

(2)学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

文化学術研究施設及び研究開発型産業施設や生産施設の立地促進

大学間のネットワークを核とした産学官連携の強化

産学官連携を促進するため、学研都市の情報交流機能などの強化

中堅や中小企業の支援、ベンチャー企業の育成による新産業の創出

(3)学研都市発の新たな文化の創造を目指して

文化教育機関の機能の高度化と連携の促進

デジタル文化やコンテンツ産業などの新たな産業文化の創造

地域に密着した学研都市固有の生活文化の創造

(5)多彩で魅力的な創造都市の形成

多彩で魅力ある都市の形成

パイロット・モデル都市の展開

「体験し学ぶ新たな観光」の推進

(4)より世界に開かれた国際的な都市への展開

アジア地域を中心に世界各国との交流連携を目指して
外国人研究者の居住や一時滞在のための環境整備

(7)本格的な都市活動を支える「都市の運営」の展開

高度な都市の運営に対する大学や専門家を中心としたアドバイザー体制の確立

近畿圏全体で学研都市の運営を支える体制の確立

サード・ステージ・プランの早期策定